

# 一般会計決算185億3489万円

# 単年度収支4年連続赤字 税金の使い道は



平成28年度  
各会計の決算を認定

今定例会では、監査委員を除く議員全員による決算特別委員会を設置、委員長に弥吉治一郎議員を選出し、9月15日、19日、20日の3日間、一般会計のほか特別会計、水道事業会計など慎重に審査した。

その結果、各会計とも原案どおり認定した。

一般会計決算は、歳入総額189億4831万円、歳出総額185億3489万円、翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支は、3億6198万円の黒字となった。ただし単年度収支では、2億3547万円の赤字となった。

主な質疑は次のとおり。

**問** 決算の数字を見て、中身が悪いという印象を受ける。これでは、次年度以降に向けて相当な資

金不足が生じるのでは。  
**答** 実質収支は黒字だが、単年度収支は2億3547万円の赤字となっている。平成25年度から4年連続の赤字で、厳しい状況となっている。行財政健全化実施計画の取り組みをしながら、早い段階で、単年度収支をプラスマイナスゼロまたは黒字にしていきたい。

**問** 4年連続で赤字というのは過去にないが、原因は

**答** 全国的に言えることだが、扶助費の伸びが原因。多くの自治体は扶助費の伸びをカバーするために、普通建設事業を抑えることで調整してきた。不必要な事業をしてきたとは思っていないが、一般財源を使っってきた事業を見直す必要がある。

### 新婚世帯家賃支援事業の要件緩和を

**問** 定住促進のための新婚世帯家賃支援事業が前

### ホークス関連 事業費の内容は

**問** ホークス関連の事業費で、駐車場の警備や球場整備に286万円を支出しているが、内容は

**答** 球場開業初年度の来場者は2軍戦で約11万7千人。1試合平均は2121人、土日は2756人が訪れている。来場者の約75%が車利用であり、約950台の駐車場が必要と想定されるが、球場の駐車場は365台で、残りは球場には入れない状況。球場周辺にまとまった駐車場がないため、迷惑駐車や、野球観戦者が、筑後船小屋駅や広域公園の体育館の駐車場に流れ、本来の施設利用者が駐車できない事態も起きた。福岡県と協議し、臨時駐車場として広域公園のメイン駐車場を借りることになった。その条件として、臨時駐車場の整理、球場までの案内誘導のための必要最小限



HAWKSベースボールパーク筑後の臨時駐車場(筑後広域公園)

の警備員を置いたことによる経費である。

**問** 市の広域公園の駐車場を借りているというが、ホークス球団が借りるべきではないか。

**答** 初年度の経過を踏まえ、球団でも駐車スペースを約150台増やすなど、努力してもらっている。駐車場の警備は、地域包括連携協定に位置付けられていない。ファーム本拠地を誘致した市の責任として、土日を中心に警備をしている。

### ◇平成28年度特別会計の決算額

会計名	歳入	歳出
国民健康保険	63億5,849万円	64億9,929万円
後期高齢者医療	6億5,926万円	6億2,127万円
介護保険	38億6,438万円	36億9,870万円
保険事業勘定		
地域包括支援センター事業勘定	4,014万円	4,014万円
市営住宅敷金管理	2,856万円	141万円
住宅新築資金等貸付	300万円	5,166万円
下水道事業	11億4,938万円	11億4,756万円
地方独立行政法人筑後市立病院貸付	6億1,459万円	6億1,459万円

### ◇平成28年度企業会計の決算額

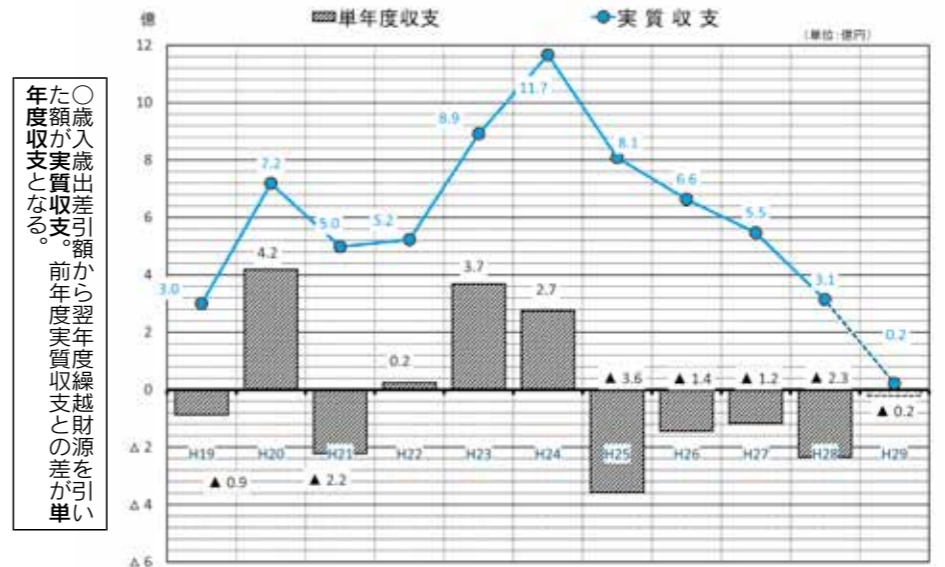
会計名	収入	支出	
水道事業	収益的収支	8億107万円	5億7,700万円
	資本的収支	8,412万円	3億4,368万円

**問** 学童保育運営の委託先を分けたのは。

**答** 地域運営委員会のみでは、保護者の負担が大きき事務処理が大変なので、委託できないかという強い要望があった。そのため平成28年度から、これまでの地域運営委員会に加え、支援実績がある社会福祉協議会にも委託することとなった。

年度より件数が減っている。要件が夫婦ともに40歳未満というのは、厳しい。晩婚化の時代なので要件を緩和するべきでは。

**答** みやま市は夫婦合計80歳未満など県内の市町村で違う。今後調査し、効果があると判断すれば変更も考える。



平成25年度以降は、扶助費・繰出金の増加のほか、ホークス誘致関連事業や公共施設改修(サザンクス筑後・サンコア等)経費などの単独事業費の増加もあって単年度赤字が続いている。